

見たことのないものをつかまえた
みんなの研究
世界の変な生き物探訪記

変な 生き物 探訪記

珍獣ハンター

平坂寛

偕成社





▲ヨロイモグラゴキブリ (オーストラリア)



▲ヨーロッパオオナマズ (スペイン)



▲ピーコックバス (アマゾン)



▲アブラボウズ (静岡県)



▲ハブクラゲ (沖縄県)



▲クラリアス (香港)



▲ハブ (沖縄県)



▲モトソデアナゴ (和歌山沖)



▲ハクレン (東京都・荒川)



▲ウルTRASカーレットトリムプレコ (アマゾン)



▲シルバーアロワナ (沖縄本島)



▲ユメカサゴ (東京海底谷)



▲ジャイアントグラスホッパー (アマゾン)



▲ミズオオトカゲ (東南アジア)



▲淡水エイ (アマゾン)



▲カミツキガメ (千葉県)



平坂寛

珍獣ハンター

つかまえて、食べる！

デンキウナギをつかんで感電したことがある。

イグアナをつかまえて食べたことがある。

グンタイアリにおそわれたこともある。

……これが、ぼくの自慢だ。ぼくは世界中

で、いろいろなめずらしい生きものを自分の

手でつかまえてまわっている。

そのようすを映像にのこしたり、文章にま

とめて、みなさんに知ってもらうのがぼくの

仕事だ。

ぼくは子どものころ体が弱く、生きものの
本を読んですごすことが多かった。本のなか
の生きものたちはどれも興味ぶかく、「いつ
か世界をめぐるって実物を見たい！」「ぼくも
生きものの本を書くぞ！」と決意し、大人に
なつたいま、それらを作る側にまわったとい
うわけだ。

なぜそんなことをするのかって？ それは

もちろん、生きものが大好きだから。大好き

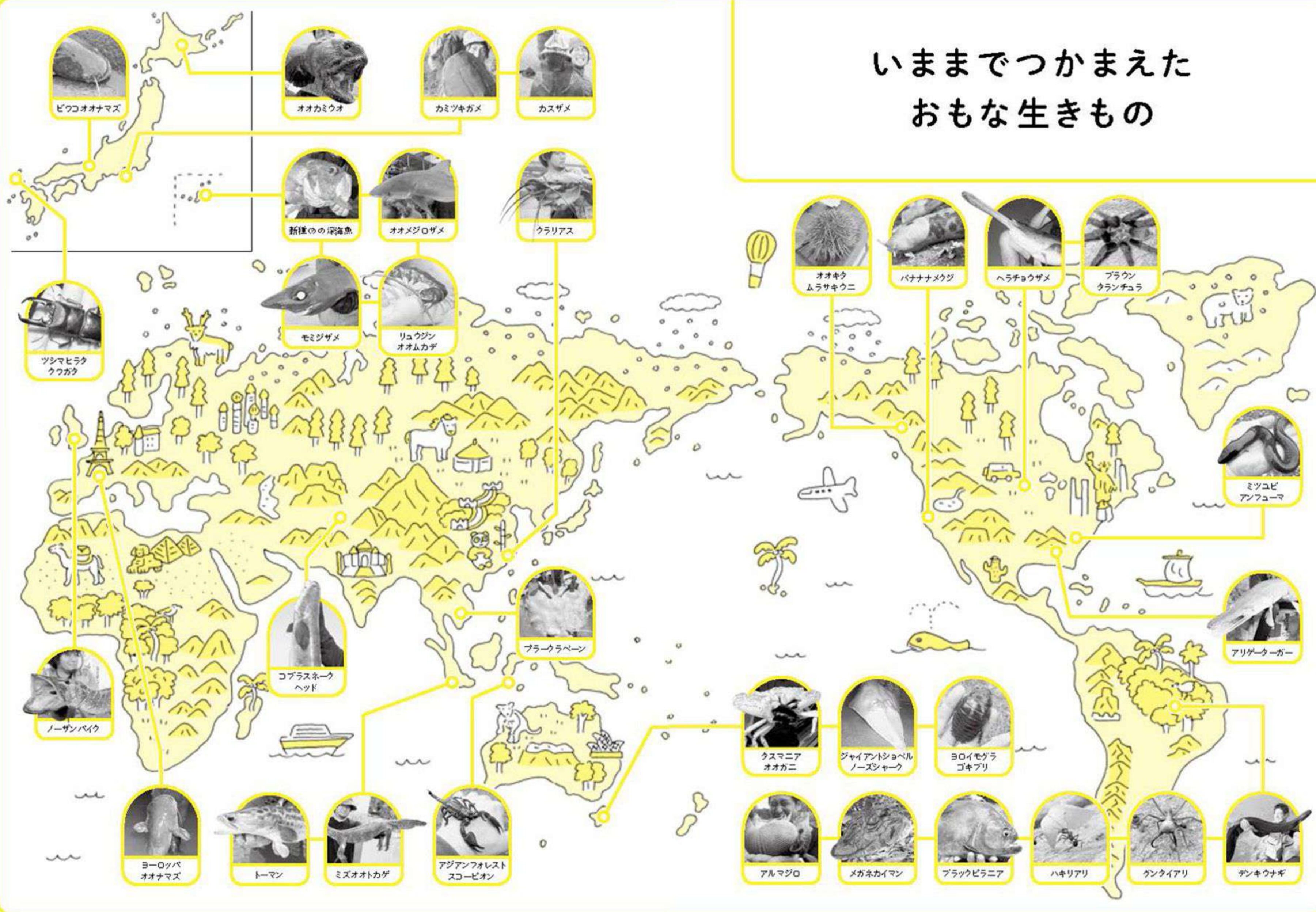
な生きもののお話を、よく知りたいから。図

鑑でしか見たことなかった生きものを、自

然のなかで見つけてつかまえる。こんなに楽

しいこと、うれしいことはない。

いままでつかまえた おもな生きもの



ビッコオオナマズ



オオカミウオ



カミツキガメ



カスザメ



新種の深海魚



オオメジロザメ



クラリアス



モミジザメ



リュウジン
オオムカデ



ツシマヒラク
クワガタ



オオキク
ムラサキクニ



バナナメクジ



ヘラチョウザメ



ブラウン
クランチュラ



ミツユビ
アンフューマ



アリゲーターガー



コブラスネーク
ヘッド



ブラークラベーン



ノーザンバイク



タスマニア
オオガニ



ジャイアントショベル
ノーズシャーク



ヨイモグラ
ゴキブリ



ヨーロッパ
オオナマズ



トーマン



ミズオトカゲ



アジアンフォレスト
スコビーオン



アルマジロ



メガネカイマン



ブラックピラニア



ハキリアリ



クンクイアリ



デンキウナギ

でも、野生の生きものをつかまえるのは、そうかんたんなことではない。なんとなく歩きまわったって、姿を見ることさえできずにおわるのがオチだ。

ある生きものをつかまえるには、まずその生きもののおとことん調べなければならぬのだ。どの国の、どんな場所にいるのか。なにを食べているのか。昼間に活動するのか、それとも夜行性なのか。大きさはどれくらいなのか。するどいキバや毒針をもっていたりしないだろうか……。

体のつくりから、くらし方まで、あらゆることを勉強しておかないと、ねらいどおりにえものをとらえるのはむずかしい。

たとえば、クワガタムシをつかまえにいくとしよう。「クワガタくらいカンタンに見つけられるよ！」という人もいるだろう。しかし、それはその人が、クワガタのことをしっかり「研究」しているからできることなのだ。

まず、クワガタをつかまえるには、いつ、どこへ行けばいいだろうか。

クワガタは暑い季節に活動する虫で、エサはクヌギやコナラなどの木から出る樹液だ。ならば、夏に雑木林へ行けばいい。ただ、クワガタはまわりが暗いうちにエサを食べるから、夜のあいだか、朝早くじゃないといけないな。それから、高い木の上にくっついているときは、木の幹をおもいきりけると、地面にポロポロ落ちてくるんだよねー。

……こういうクワガタ採集のコツは、本にもよく書かれていることだし、昆虫好きなら多くの人が知っていることかもしれない。でも、ここにはクワガタという昆虫に対する「研究結果」がギッシリつまっているのだ。

たとえば、生きものたちがどのような一生をおくるか。これを生物学の世界では「生活史」という。「成虫が夏に活動する」というのは、クワガタの生活史の一部なのだ。

このほかにも、クワガタとりには、いろいろな分野の生物学の要素がふくまれているぞ。